

安全に関する重要事項
新型モニタの機能
モニタのセットアップ
ドライバのインストール
モニタの使い方
モニタの詳細設定
トラブルシューティング
技術的仕様
手入れとクリーニング
環境問題
ハードウェア保証
規制事項



hp p920

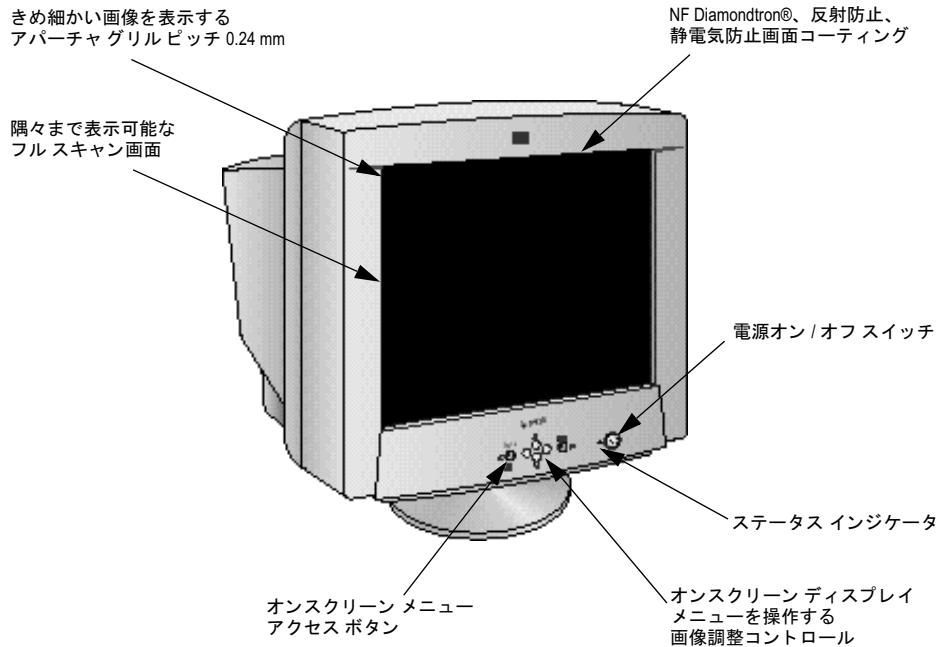
D8912

19 インチ カラー モニタ
(可視領域対角 18 インチ)



www.hp.com/go/monitors

www.hp.com/go/monitorsupport



hp p920
D8912
19 インチ カラー モニタ
(可視領域対角 18 インチ)

ユーザーズ ガイド

ご注意

本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

本書に記載した内容は、商品性や特定の目的に対する適合性を保証するものではなく、当社はそれらに関して責任を負いません。

また、本書の記載の誤り、あるいは本書の配布、内容、利用にともなって生じる偶発的、結果的損害に関して責任を負いません。

当社は、当社提供以外の機器上で当社ソフトウェアを使用した場合、その使用ならびに信頼性について一切の責任を負いません。

本書の内容は、著作権によって保護されています。本書のいかなる部分も当社の書面による事前の許可なくして複写、転載、翻訳することは禁止されています。

Hewlett-Packard France 38053 Grenoble Cedex 9 France © 2000 Hewlett-Packard Company

安全に関する注意事項

警告

安全のために、このモニタは必ずアース付きの壁のコンセントに接続してください。電源コードは本製品に付属のものか、正しくアースされたプラグが付いているものを使用する必要があります。必ず国内の規格に合ったものをお使いください。本製品は電源コードをコンセントから抜けば、電源から切り離すことができます。したがって、本製品はコンセントに手が届く場所に設置してください。

感電を防ぐため、カバーは取り外さないでください。本製品内部にはユーザが修理できるパーツはありません。修理は資格を持つ担当者にお任せください。

ビデオケーブルをコンピュータに抜き差しする際は、必ずコンピュータの電源をオフにしてから行ってください。

快適に作業を行うためには

この度は、HP 製モニタをご購入いただき、ありがとうございます。快適さを損なわず、しかも生産性を向上させるためには、作業環境を整え、コンピュータを正しく使用することが大切です。当社はそのことを念頭において、人間工学の研究成果に基づいたセットアップや使用法についての注意事項を作成しました。

HP コンピュータのハードディスクにプリインストールされたオンライン版『快適に作業を行うために』をご覧いただきか、次の HP Web サイトをご覧ください。

<http://www.hp.com/ergo/>

注意

モニタはかなりの重量があります(技術的仕様をご覧ください)。本製品を持ち上げたり動かすときは、二人で行ってください。



矢印の付いたせん光を正三角形で囲んだマークは、絶縁されていない「危険な電圧」が製品の内部にあり、その電圧が感電を引き起こす危険性があることを示します。



感嘆符を正三角形で囲んだマークは、付属マニュアルに重要な操作および保守上の注意事項が記載されていることを示します。

新型モニタの機能

このモニタは、高解像度の NF Diamondtron® 19 インチ (可視領域対角 18 インチ) マルチ同期カラー モニタです。マルチ同期により、多様なビデオ モードをサポートしています。あらゆるヒューレット パッカード製 パーソナル コンピュータと組み合わせてご使用いただけます。

本カラー モニタには、次のような特長があります。

- 19 インチ NF Diamondtron ブラウン管を採用。可視領域対角は 18 インチ、アパー チャ グリル ピッチは 0.24 mm できめ細かい画像を表示。反射を抑えるアンチ グレア コーティング。
- リフレッシュ レート 85 Hz で 1600 × 1200 のビデオ モードまでサポート。
- オンスクリーン メニューによる画像調整。色温度調整および画像の質と位置を最適化する画像調整機能付き。
- 必要な機能を備えた HP コンピュータから、モニタ パワー マネージメント システム (VESA¹ 標準) でモニタを制御し、自動的に消費電力を節減。当社は ENERGY STAR² の参加事業者として、本製品が ENERGY STAR の対象製品に関する基準を満たしていると判断します。
- モニタは Plug & Play (VESA DDC1/2B 標準) 対応で、必要な機能を備えた HP コンピュータ上で自動的に設定。
- ISO 9241-3/-7/-8 のエルゴノミクス 規格に適合
- Swedish National Board for Measurement and Testing の MPRII 静電気および磁場放出上限ガイドラインに適合
- HP モニタは、TCO99 要件に適合 (33 ページの「TCO99 Ecology Energy Emissions Ergonomics」を参照)

1. VESA は Video Electronics Standards Association の略です。
2. ENERGY STAR は米国環境保護局 (EPA) の商標です。

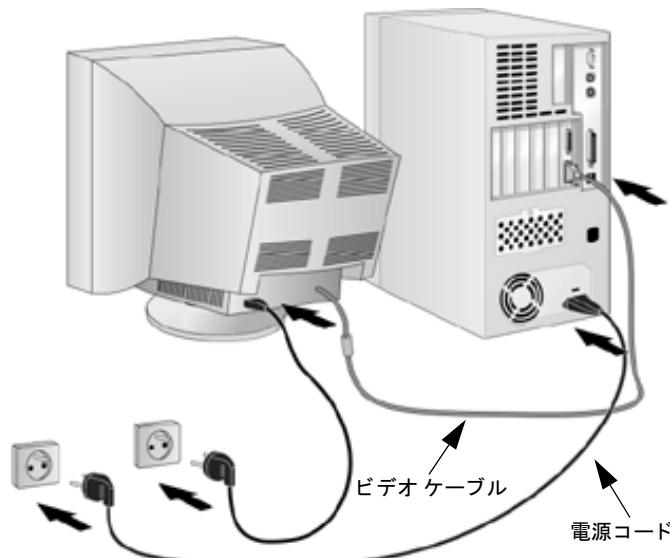
モニタのセットアップ

モニタの設置場所

モニタは平らで丈夫な面に設置してください。また、温度と湿度が高くなったり、電磁界の発生源がある場所では決して使用しないでください。電磁界の発生源としては、トランス、モータ、他のモニタなどがあります。

ケーブルの接続

- 1 ケーブルをモニタに接続する前に、本書の最初にある安全上の注意事項をお読みください。コンピュータとモニタのスイッチがオフになっていることを確認します。
- 2 ビデオケーブル(15ピンプラグ付き)をコンピュータのビデオ出力の一方に接続します。プラグのねじを締めます。
- 3 電源コードをモニタに差し込みます。
- 4 電源コードをコンセントに差し込みます。



注記

コンピュータのビデオ出力の位置が図と異なる場合があります。必要に応じて、コンピュータの付属マニュアルをご覧ください。

ドライバのインストール

Windows 95、Windows 98 または Windows 2000 オペレーティング システム

Windows 95/98/2000 オペレーティング システムの Plug & Play 機能を利用する
ために、HP モニタには機能を最大限引き出すためのドライバが付属
しています。

ドライバをインストールする手順

- Windows 95 お
よび Windows
98 ユーザ
- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル] の順にクリックします。
 - 2 [画面] をダブルクリックします。
 - 3 [設定] タブをクリックします。
 - 4 [詳細] をクリックして [モニタ] タブを選択します。
 - 5 [変更] ボタンをクリックして、お使いの HP モニタのモデルを選択しま
す。
 - 6 [ディスク使用] ボタンをクリックします。
 - 7 [参照] ボタンをクリックして、CD-ROM の \Drivers ディレクトリで、
HPMON_XX.INF ファイルを検索し [OK] をクリックします
 - 8 [モデル] ボックスでお使いのモニタ タイプを選択して [OK] をクリック
し、選択したモニタをインストールします。

- Windows 2000
ユーザのみ
- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル] の順にクリックします。
 - 2 [画面] をダブルクリックします。
 - 3 [設定] タブをクリックします。
 - 4 [詳細] をクリックして [モニタ] タブを選択します。
 - 5 [プロパティ] をクリックします。
 - 6 [ドライバ] タブをクリックします。
 - 7 [ドライバの更新] をクリックして、[次へ] をクリックします。
 - 8 [推奨] オプションを選択して、[次へ] をクリックします。
 - 9 [場所の指定] チェックボックスをチェックします。
 - 10 CD-ROM の \Drivers ディレクトリで、HPMON_XX.INF ファイルを検索
して開き、[OK] をクリックします。
 - 11 [次へ] をクリックして、選択したモニタをインストールします。

これで、お使いのオペレーティング システムと HP モニタが最適条件で機
能するように設定されました。

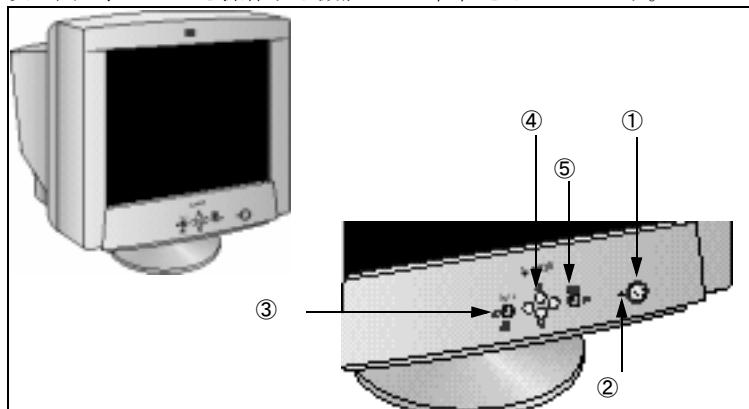
お使いの Windows 95/98/2000 のモニタ ドライバのインストール手順が異
なる場合、またはより詳しいインストール情報が必要な場合は、Windows
95/98/2000 のユーザーズ マニュアルを参照してください。

HP は、新しいモニタがリリースされるたびに、HPMON_XX.INF ドライ
バを更新しています。最新バージョンをダウンロードするには、次の HP
モニタ サポート Web サイトをご覧ください。

<http://www.hp.com/go/monitorsupport>

モニタの使い方

次の図は、モニタを操作する機能キーの位置を示しています。



電源ボタン

① このボタンを使ってモニタのオン / オフを切り替えます。

電源インジケータ

② モニタが正常に機能しているとき、電源インジケータは緑色です。
モニタが DPM(省エネルギー)モード(スタンバイ / サスPEND / 電源オフ)に移行すると、インジケータはオレンジ色に変わります。

メニュー ボタン

③ メニュー ボタンを使って、オンスクリーンディスプレイメニューの開始と終了を行います。このボタンを使って直前のメニューに戻ることもできます。

コントロール ボタン

④ コントロール ボタンを使って、オンスクリーンディスプレイメニューから画面パラメータの選択や調整を行います。

エンター ボタン

⑤ エンター ボタンを使って、オンスクリーンディスプレイメニューで選択した内容を実行します。

注記

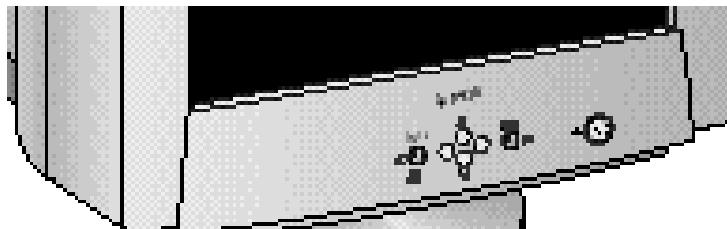
3 秒経過すると、すべてのメニューは自動的に設定内容を保存します。

コンピュータの電源管理機能が正常に動作していれば、モニタのオン / オフを切り替える必要はありません。切り替えは自動的に行われます。

モニタの調整

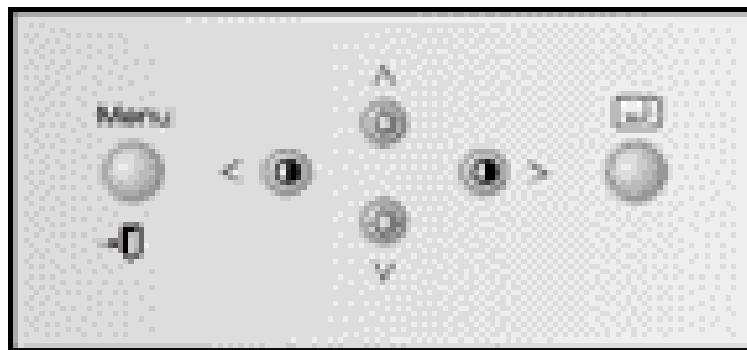
ユーザ コントロール

このモニタでは、表示される画像の特徴を簡単に調整できます。調整はすべて、モニタ前面のコントロール ボタンを使って行います。コントロール ボタンでオンスクリーン メニューを操作し、モニタの設定を表示して設定内容を変更します。



メニュー：コントロールと調整

画像サイズ、位置およびモニタのオペレーティング パラメータの調整は、メニューの機能を使ってすばやく簡単に行えます。以下の例を参照して、コントロールの使い方に慣れてください。



注記

電源をオンにしてから少なくとも 30 分経過してモニタが安定してから、画像の調整を行ってください。

以下の手順で調整を行います。

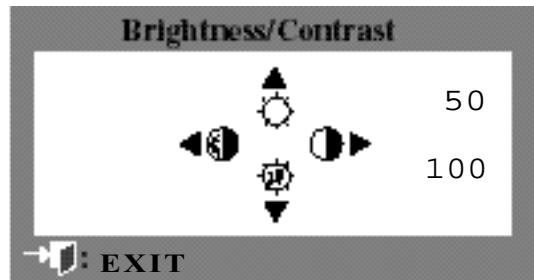
- 1 [Menu] ボタンを押します。メニューが表示されます。
- 2 サブメニュー([Position]/[Size]/[Geometry]/[Color]/[Screen]など)にアクセスするには、◀ / ▶ ボタンを押して調整する項目のアイコンを強調表示します。
- 3 機能にアクセスするには、▲ / ▼ ボタンを押します。調整する項目のアイコンが強調表示されたら、■ [Enter] ボタンを押します。

- 4  /  または  /  ボタンを使って、項目を希望するレベルに調整します。
- 5  [Menu] ボタンを押して、メニューを終了するか直前のメニューに戻ります。

自動保存

オンスクリーン メニューを開いて他のボタンを押さずに 3 秒間調整ウィンドウをアクティブな状態に保つと、モニタは自動的に調整内容を保存します。変更内容はモニタのユーザ領域に保存されます。ユーザ領域は、お使いのコンピュータからの信号周波数に従って確保されます。モニタは 10 通りのユーザ モードまでの調整内容を保存できます。モニタには 10 通りの工場出荷時設定が用意されていて、22 ページのビデオ モードのリストに記載されているように各信号周波数に 1 つ割り当てられています。調整を行わなかった場合は、オンスクリーン メニューは消え、モニタは保存を行いません。変更内容を保存せずに終了する場合は、3 秒間経過する前に  [Menu] ボタンを押します。

Brightness/Contrast (ブライトネス / コントラスト) 調整に
直接アクセス



この機能でブрайトネスとコントラストを調整します。設定内容を調整したら  [Menu] ボタンを 2 回押して [Brightness/Contrast] OSD を閉じます。

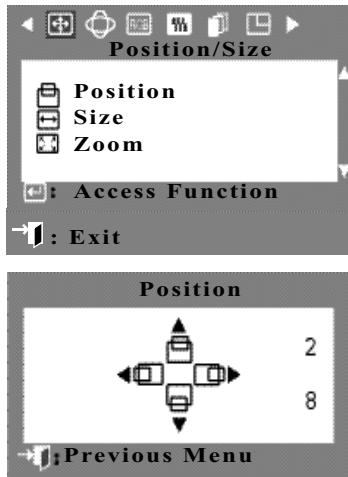
- 1     ボタンを押して [Brightness/Contrast] OSD を表示します。
- 2   ボタンを押してブライトネスを調整し、  ボタンを押してコントラストを調整します。

メニュー機能

[Menu] 機能では、モニタのオンスクリーンメニューを使って画質を調整します。

設定内容の調整を終えたら、[Menu] ボタンを押して [Main Menu] に戻ります。次に [Menu] ボタンをもう一度押してオンスクリーンメニューをオフにします。

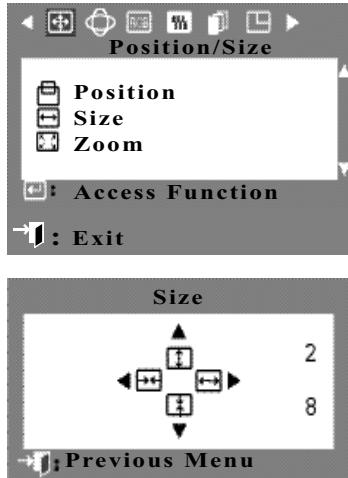
POSITION



[Position] パラメータでは、画像の位置を変更します。

- [Menu] ボタンを押します。
- ◀ または ▶ ボタンを押して、[Position/Size] OSD を表示します。
- ▲ または ▼ ボタンを押して [Position] を強調表示し、次に □ ボタンを押して [Position] 調整 OSD を表示します。
- ▲ および ▼ ボタンを使って垂直方向の調整を行い、◀ および ▶ ボタンを使って水平方向の調整を行います。

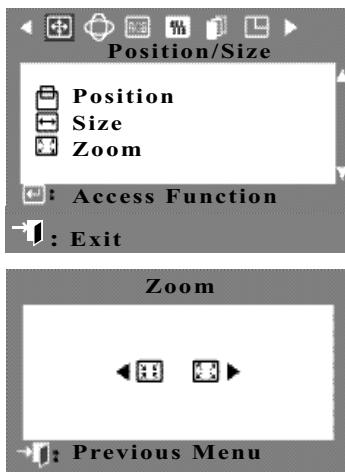
SIZE



[Size] パラメータでは、画像のサイズを変更します。

- [Menu] ボタンを押します。
- ◀ または ▶ ボタンを押して [Position/Size] OSD を表示します。
- ▲ または ▼ ボタンを押して [Size] を強調表示し、次に □ ボタンを押して [Size] 調整 OSD を表示します。
- ▲ および ▼ ボタンを使って垂直方向のサイズ調整を行い、◀ および ▶ ボタンを押して水平方向のサイズを調整します。

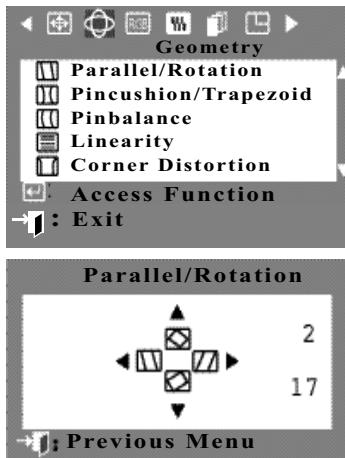
ZOOM



[Zoom] パラメータでは、画像のクローズアップとズームアウトを行います。

- 1 [Menu] ボタンを押します。
- 2 ▲ または ▶ ボタンを押して、[Position/Size] OSD を表示します。
- 3 ▲ または ▼ ボタンを押して [Zoom] を強調表示し、次に □ ボタンを押して [Zoom] 調整 OSD を表示します。
- 4 ▲ または ▶ ボタンを使って、モニタの可視領域を拡大または縮小します。

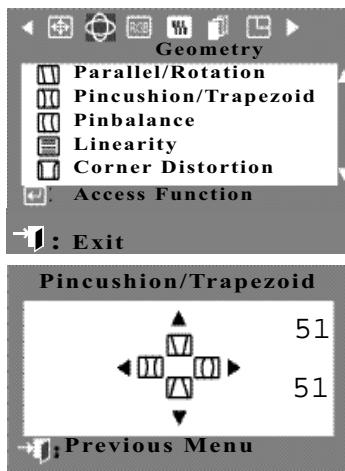
PARALLEL/ROTATION



[Parallel/Rotate] パラメータでは、画像が左右に傾いたとき Parallelogram 設定を調整し、画像が左右に回転したとき Rotation 設定を調整します。

- 1 [Menu] ボタンを押します。
- 2 ▲ または ▶ ボタンを押して、[Geometry] OSD を表示します。
- 3 ▲ または ▼ ボタンを押して [Parallel/Rotation] を強調表示し、次に □ ボタンを押して [Parallel/Rotation] 調整 OSD を表示します。
- 4 ▲ または ▶ ボタンを押して Parallel 設定を調整し、▲ または ▼ ボタンを押して Rotation 設定を調整します。

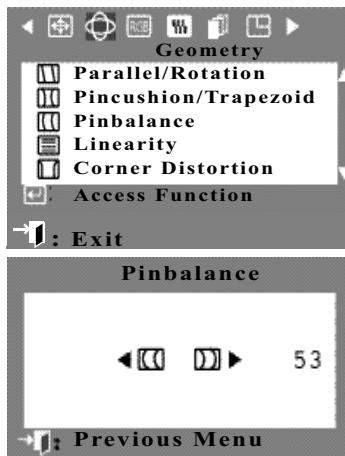
PINCUSHION/TRAPEZOID



[Pincushion/Trapezoid] パラメータでは、画像の側辺が内または外に湾曲したとき Pincushion 設定を調整し、画像の上辺または下辺が長すぎたり短すぎたりするとき Trapezoid 設定を調整します。

- 1 [Menu] ボタンを押します。
- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して [Geometry] OSD を表示します。
- 3 ▲ または ▼ ボタンを押して [Pincushion/Trapezoid] を強調表示し、次に □ ボタンを押して [Pincushion/Trapezoid] OSD を表示します。
- 4 ▲ または ▼ ボタンを押してモニタの可視領域を拡張または収縮し、▲ または ▼ ボタンを押して Trapezoid 設定を調整します。

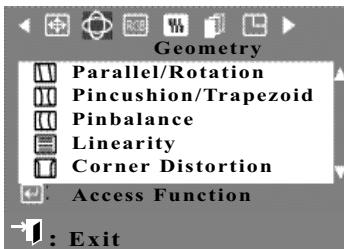
PINBALANCE



[Pinbalance] パラメータでは、画像の側辺が左右に湾曲したとき Pinbalance 設定を調整します。

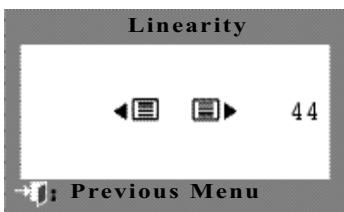
- 1 [Menu] ボタンを押します。
- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して、[Geometry] OSD を表示します。
- 3 ▲ または ▼ ボタンを押して [Pinbalance] を強調表示し、次に □ ボタンを押して [Pinbalance] 調整 OSD を表示します。
- 4 ▲ または ▼ ボタンを使って、Pinbalance 設定を調整します。

LINEARITY

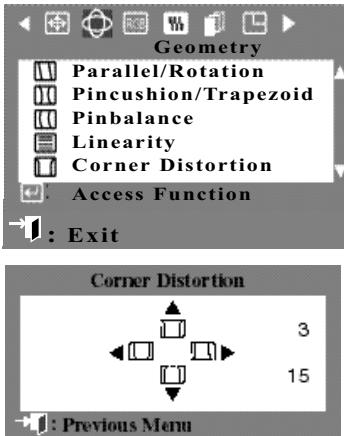


[Linearity] パラメータでは、画像の上部または下部が圧縮されたとき Linearity 設定を調整します。

- 1 [Menu] ボタンを押します。
- 2 ▲ または ▶ ボタンを押して、[Geometry] OSD を表示します。
- 3 ▲ または ▼ ボタンを押して [Linearity] を強調表示し、次に □ ボタンを押して [Linearity] 調整 OSD を表示します。
- 4 ▲ または ▶ ボタンを押して、垂直方向の Linearity を調整します。

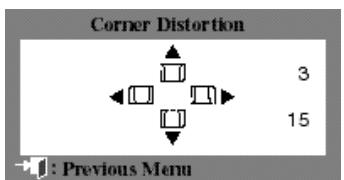


CORNER DISTORTION



[Corner Distortion] パラメータでは、画面表示の境界線が真っ直ぐでないとき Corner Distortion を調整します。

- 1 [Menu] ボタンを押します。
- 2 ▲ または ▶ ボタンを押して、[Geometry] OSD を表示します。
- 3 ▲ または ▼ ボタンを押して [Corner Distortion] を強調表示し、次に □ ボタンを押して [Corner Distortion] 調整 OSD を表示します。
- 4 ▲ または ▼ ボタンを押して上部境界線を調整します。▲ または ▶ ボタンを押して下部境界線を調整します。

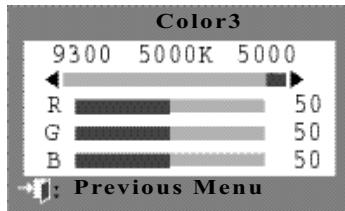
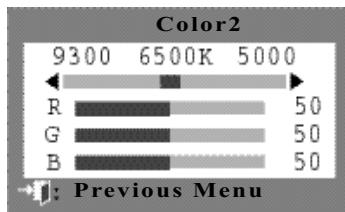


COLOR



Color temperature (色温度) は、画像色の「暖かさ」の尺度です。5000 ~ 9300K の範囲が使用可能です。このパラメータでは、R、G、B の色調整を個別に行います

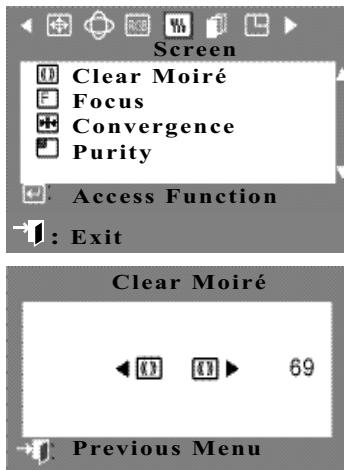
- 1 [Menu] ボタンを押します。
- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して [Color] OSD を表示します。
- 3 ▲ または ▼ ボタンを使って [Color 1]、[Color 2]、または [Color 3] を強調表示し、次に □ ボタンを押して [Color 1]、[Color 2]、または [Color 3] 調整 OSD を開きます。
- 4 現在の色温度が、OSD 上部中央に、9300 ~ 5000 の間に表示されます。▲ または ▼ ボタンを使って色温度を調整します。
- 5 ▲ または ▼ ボタンを使って色温度を調整します。▲ または ▼ ボタンを使って R(赤)、G(緑)、または B(青) を選択し、次に ▲ または ▼ ボタンを使って色を調整します。



注記

Recall 機能は、Color 設定の内容をリセットしません。

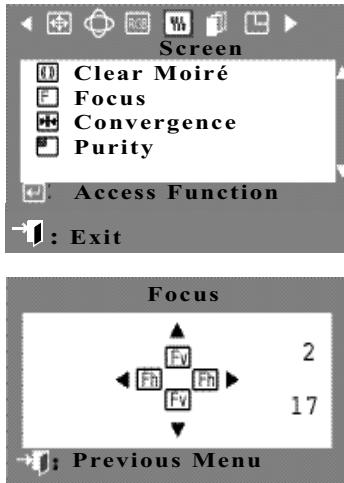
CLEAR MOIRé



同心円状または同心円弧状のモアレ模様が OSD に現れることがあります。[Clear Moiré] パラメータでは、この干渉を取り除きます。

- 1 [Menu] ボタンを押します。
- 2 ▲ または ▶ ボタンを押して、[Screen] OSD を表示します。
- 3 ▲ または ▼ ボタンを押して [Clear Moiré] を強調表示し、次に □ ボタンを押して [Clear Moiré] 調整 OSD を表示します。
- 4 ▲ または ▶ ボタンを使って、水平方向のモアレを調整します。

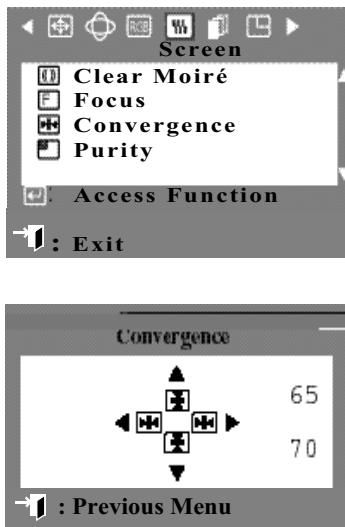
FOCUS



[Focus] パラメータでは、画像を鮮明にします。

- 1 [Menu] ボタンを押します。
- 2 ▲ または ▶ ボタンを押して、[Screen] OSD を表示します。
- 3 ▲ または ▼ ボタンを押して [Focus] を強調表示し、次に □ ボタンを押して [Focus] 調整 OSD を表示します。
- 4 ▲ または ▶ ボタンを使って、画面の左右の領域を調整します。▲ または ▼ ボタンを使って、画面の上下の領域を調整します。

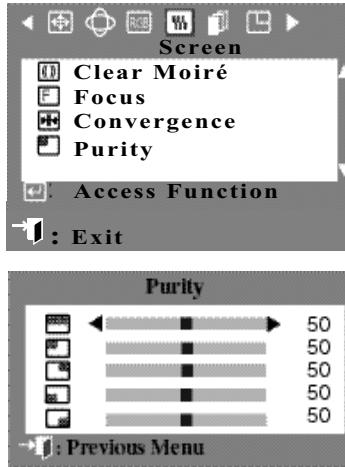
CONVERGENCE



[Convergence] とは、画像の明るさに影響する赤、緑、青の色信号の調整のことです。[Convergence] パラメータでは、色信号のコントロールを行います。

- 1 [Menu] ボタンを押します。
- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して、[Screen] OSD を表示します。
- 3 ▲ または ▼ ボタンを押して [Convergence] を強調表示し、次に □ ボタンを押して [Convergence] 調整 OSD を表示します。
- 4 ▲ または ▼ ボタンを使って、水平方向の Convergence を調整します。▲ または ▼ ボタンを使って、垂直方向の Convergence を調整します。

PURITY



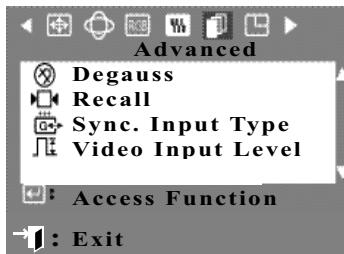
[Purity] パラメータでは、画像の色の純度を調整します。

- 1 [Menu] ボタンを押します。
- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して、[Screen] OSD を表示します。
- 3 ▲ または ▼ ボタンを押して [Purity] を強調表示し、次に □ ボタンを押して [Purity] 調整 OSD を表示します。
- 4 ▲ または ▼ ボタンを使って調整領域を選択し、▲ または ▼ ボタンを使って調整を実行します。

注記

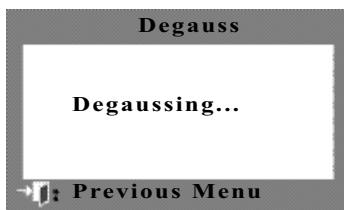
中央(上部/下部)の Purity を調整する場合は、まず [Menu] を使って調整し、次に各コーナーを順次調整します。

DEGAUSS



[Degauss] パラメータでは、磁界に起因する色の不純を取り除きます。[Degauss] 機能は 30 分間に 1 度以上使用しないでください。

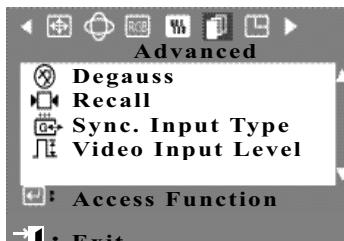
- 1 [Menu] ボタンを押します。
- 2 ▲ または ▶ ボタンを押して、[Advanced] OSD を表示します。
- 3 ▲ または ▼ ボタンを押して [Degauss] を強調表示し、次に □ ボタンを押して [Degauss] 機能を実行します。
- 4 デガウス OSD が表示されます。数秒後、[Degauss] メインメニューに戻ります。



注記

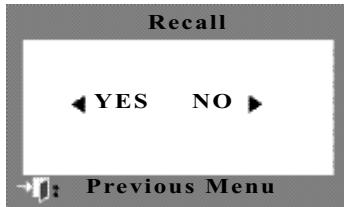
デガウス実行中、モニタが一瞬ブーンという音を発し、画像の色が変化し、画像が数秒間歪みますが、これらは正常な現象です。

RECALL



[Recall] パラメータでは、以下のモニタ設定を元の設定にリセットします : [Position]、[Size]、[Pincushion]、[Trapezoid]、[Parallelogram]、[Pinbalance]、[Rotation]、[Clear Moiré]、[Convergence]、および [Purity]

- 1 [Menu] ボタンを押します。
- 2 ▲ または ▶ ボタンを押して、[Advanced] OSD を表示します。
- 3 ▲ または ▼ ボタンを押して [Recall] を強調表示し、次に □ ボタンを押して [Recall] 機能を実行します。
- 4 ▶ ボタンを使って [YES] を選択します。モニタをリセットしない場合は、▶ ボタンを使って [NO] を選択します。

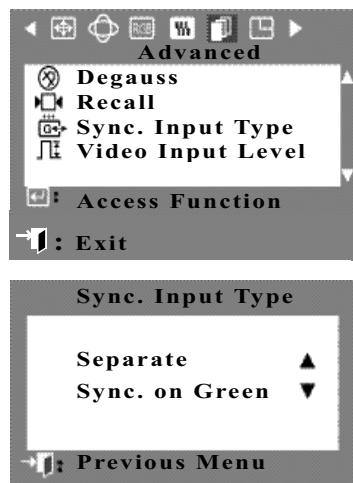


注記 [Yes] を選択すると、上記の設定がすべてリセットされます。その他の設定はリセットされません。

注意 この操作は、現在のタイミング信号用のユーザ メモリ領域のすべてのデータをリセットします。

注意 この操作は、ユーザ メモリ領域のすべてのデータをリセットします。この場合、ユーザ調整をやり直す必要があります。

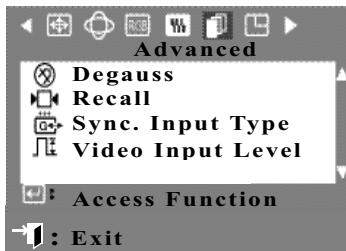
SYNC. INPUT TYPE



[Sync. Input Type] パラメータでは、モニタを適切な同期タイプに設定します。コンピュータが分離同期信号を発信している場合は、[Separate] を選択します。コンピュータが発信する緑信号との同期がモニタに求められる場合は、[Sync. on Green] を選択します。コンピュータまたはビデオカードのユーザーズ マニュアルを参照して、適切な設定を確認してください。

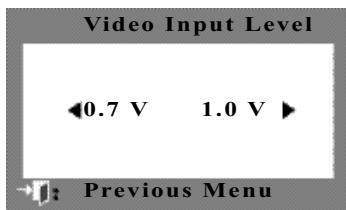
- 1 [Menu] ボタンを押します。
- 2 ▲ または ▼ ボタンを押して、[Advanced] OSD を表示します。
- 3 ▲ または ▼ ボタンを押して [Sync. Input Type] を選択し、次に □ ボタンを押して [Sync. Input Type] 選択 OSD を表示します。
- 4 ▲ または ▼ ボタンを使って、[Separate] または [Sync. on Green] を選択します。

VIDEO INPUT LEVEL

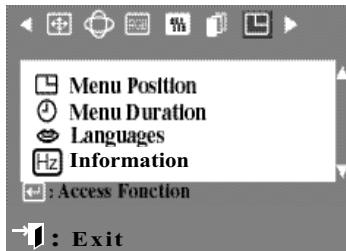


ビデオカードの中には 1.0 V 以上のビデオ信号を使用するものがあり、この場合、表示が非常に明るくなります。[Video Input Level] パラメータでは、お使いのコンピュータのビデオカードに最適のレベルを選択します。

- 1 [Menu] ボタンを押します。
- 2 ▲ または ▶ ボタンを押して、[Advanced] OSD を表示します。
- 3 ▲ または ▼ ボタンを押して [Video Input Level] を強調表示し、次に □ ボタンを押して [Video Input Level] 選択 OSD を表示します。
- 4 ▲ または ▶ ボタンを押して、[0.7 V] または [1.0 V] を選択します。

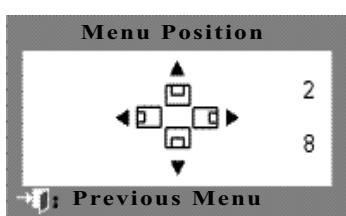


MENU POSITION

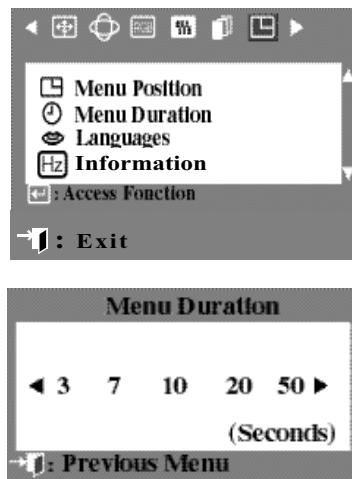


[Menu Position] パラメータでは、モニタ上に表示される OSD メニューの位置を変更します。

- 1 [Menu] ボタンを押します。
- 2 ▲ または ▶ ボタンを押して、[Menu] OSD を表示します。
- 3 ▲ または ▼ ボタンを押して [Menu Position] を選択し、次に □ ボタンを押して [Menu Position] 調整 OSD を表示します。
- 4 ▲、▼、▲ または ▶ ボタンを使って、メニューの位置を決めます。



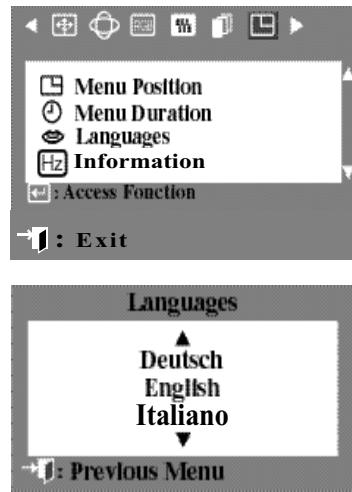
MENU DURATION



メニューは一定の時間内に調整が行われないと、自動的にオフになります。[Menu Duration] パラメータでは、メニューがオフになるまでの時間を設定します。

- 1 [Menu] ボタンを押します。
- 2 \blacktriangleleft または \triangleright ボタンを押して、[Menu] OSD を表示します。
- 3 \blacktriangleup または \blacktriangledown ボタンを押して [Menu Duration] を選択し、次に \square ボタンを押して [Menu Duration] 選択 OSD を表示します。
- 4 \blacktriangleleft または \triangleright ボタンを使って、[3]、[7]、[10]、[20]、または [50] 秒を選択します。初期設定値は [10] 秒です。

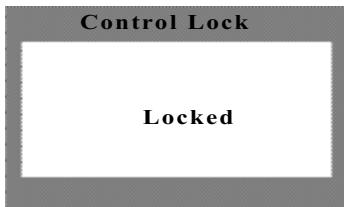
LANGUAGES



[Languages] パラメータでは、メニューで使用する言語を変更します。選択した言語は OSD で使用する言語にのみ反映されます。コンピュータ上で実行しているソフトウェアには影響しません。

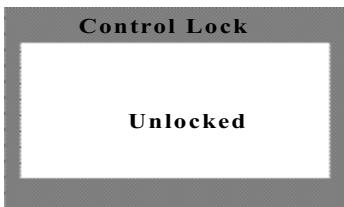
- 1 [Menu] ボタンを押します。
- 2 \blacktriangleleft または \triangleright ボタンを押して、[Menu] OSD を表示します。
- 3 \blacktriangleup または \blacktriangledown ボタンを押して [Languages] を選択し、次に \square ボタンを押して [Languages] 選択 OSD を表示します。
- 4 \blacktriangleup または \blacktriangledown ボタンを使って使用したい言語を選択します。7 言語 (英語、フランス語、ポルトガル語、イタリア語、スペイン語、中国語、ドイツ語) から 1 言語選択できます。

OSD LOCK/UNLOCK



[OSD Lock/Unlock] では、コントロールをロックして調整データを保護します。同じ手順で、いつでも OSD コントロールのロックを解除できます。

- 1 [Enter] (回) ボタンを 10 秒以上押し続けて、Lock / Unlock を切り替えます。



目の疲れを抑えるには

画面のちらつきや目の疲れを抑えるには、選択した解像度に対して最も高い画像リフレッシュ レートを使用してください。推奨値は 85Hz です。画像リフレッシュ レートは 1 秒あたりの画像更新回数です。

エネルギー消費の最小化

ご使用のコンピュータが VESA モニタ パワー マネジメント機能をサポートしていれば (HP PC の多くがこの機能を備えています)、このモニタの消費電力を最小限に抑えることができます。省電力モードには次の 2 種類があります。

- サスPEND モード¹ (消費電力 15W 以下)。このモードのとき、モニタのフロントパネルのインジケータランプはオレンジ色です。
- アクティブオフ モード² (消費電力 3 W 以下)。このモードのとき、モニタのフロントパネルのインジケータランプはオレンジ色です。

これらの省電力モードの設定方法は、ご使用のコンピュータの付属マニュアルをご覧ください。モニタに画像が表示されないときは、まずモニタのフロントパネルのインジケータランプを確認してください。モニタが省電力モードになっている可能性があります。

サポートするビデオ モード

このモニタでは、以下の表に示す標準モードがあらかじめ設定されています。中間のビデオ モードもサポートしていますが、この場合フロントパネルのボタンで表示画像を最適化しなくてはならない場合があります。モードはすべてノンインターレースです。このモニタは GTF* 対応です。

出荷時設定モード

解像度	リフレッシュ レート /Hz
640 x 400	70
640 x 480	60, 85
800 x 600	85
1024 x 768	75, 85
1280 x 1024 GTF*	75, 85
1600 x 1200	75, 85

HP モニタの推奨モードは、1280 × 1024、85 Hz です。

1. 水平同期がビデオ コントローラによって遮断されるとサスPEND モードになります。
2. 垂直同期と水平同期の両方がビデオ コントローラによって遮断されるとアクティブオフ モードになります。

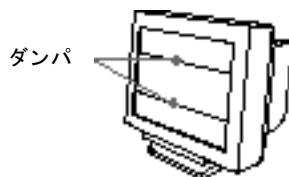
* GTF - General Timing Formula.

トラブルシューティング

テクニカル サポートに連絡する前に、このセクションをお読みください。

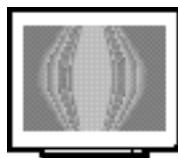
画面に 2 本の細い線(ダンパー ワイヤ)が現れる場合

画面に現れるこれらの線はアーチャグリルモニタでは正常なことであり、故障ではありません。これらはアーチャグリルを固定するダンパー ワイヤの影で、画面の背景が明るい(通常白い)とき目に留まります。アーチャグリルは、NF Diamondtron ブラウン管の重要な要素で、画面に多くの光を到達させることによってより明るく、より鮮明な画像を実現します。



モアレ

モアレは、なめらかな波形線を画面に発生させる自然干渉の一種で、インプット信号からの画像の規則的パターンと CRT の蛍光体ピッチのパターンとの干渉により現れます。詳細は、15 ページの「Clear Moiré」を参照してください。

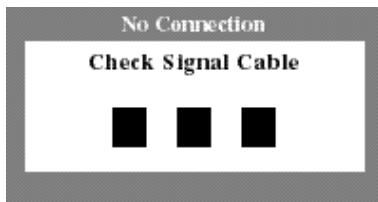


セルフテスト機能チェック (STFC)

お使いのモニタには、モニタが正常に機能しているかどうかをチェックするセルフテスト機能が用意されています。モニタとコンピュータが正しく接続されているにもかかわらず画面が暗いままで電源インジケータが点滅している場合は、次の手順でモニタのセルフテストを実行してください。

- 1 コンピュータとモニタの電源をオフにします。
- 2 コンピュータ背面からビデオケーブルを引き抜きます。
- 3 モニタの電源をオンにします。

モニタが正常に機能している場合は、次のような赤い囲み線の付いた白い長方形が表示されます。



囲み線の中の 3 つの正方形の色は、それぞれ赤、緑、青です。正方形のいずれかが表示されない場合は、モニタに何らかの問題があります。この図は、モニタを通常に使用しているときでも、ビデオケーブルが外れた場合や損傷した場合に表示されます。

- 4 モニタの電源をオフにして、ビデオケーブルを再び接続します。次にコンピュータとモニタの電源をオンにします。
- 上記の手順でチェックを実行して異常がなければ、モニタは正常に機能しています。それでもモニタに何も表示されない場合は、ビデオコントローラとコンピュータ システムをチェックしてください。

ウォームアップ時間

モニタの電源を入れてから温度が安定するまで、一定の時間が必要です。したがって、各パラメータを正確に調整するためには、モニタの電源を入れてから少なくとも 30 分以上ウォームアップしてから画面調整を行ってください。

当社に電話をかける前に、以下の項目を確認してください。

画像が表示されない / LED はオフ

- モニタの電源がオンになっていることを確認する。
- 電源コードが正しく接続されていることを確認する。
- コンセントが差し込まれていることを確認する。
- サポートされている解像度をあらかじめ設定した別の PC 上で、モニタをテストする。

画像が表示されない / LED はオン

- モニタが省電力モードになっていないことを確認する。
- メニューのコントロール ボタンを使って、コントラストとブライトネスを調整する。
- PC の電源がオンになっていることを確認する。
- ビデオ ケーブルのピンが曲がっていないことを確認する。
- サポートされている解像度をあらかじめ設定した別の PC 上で、モニタをテストする。

色がきたない

- モニタのデガウスを行う。
- モニタをシャットダウンして、30 分後にスイッチを入れる。

画像が中心からずれている

- メニューのコントロール ボタンを使って、画像を調整する。

画像がぼやけている

- リコール機能を実行する。
- メニューのコントロール ボタンを使って、コントラストを軽減する。
- モアレ軽減の値をゼロに調整する。

技術的仕様

ブラウン管	サイズ	19 インチ 可視領域対角 18 インチ
	アーチャ グリル ピッチ	0, 24 mm
	フェース プレート	反射防止 静電気防止コーティング
インターフェース	15 ピン ミニ D-SUB コネクタ付きビデオ ケーブル	
走査周波数	水平	30 ~ 107 kHz
	垂直	160 Hz
最大解像度	1600 x 1200 (85 Hz)	
推奨解像度	1280 x 1024 (85 Hz)	
ウォームアップ時間	最適性能レベルに達するまで 30 分	
最大ピクセル クロック	240 MHz 未満	
表示サイズ	標準サイズ : 352 (幅) × 264 (高さ) mm 最大サイズ : 366 (幅) × 274 (高さ) mm	
パワーマネジメント	電源オン 150W (最大)	LED は緑色の点灯
	スタンバイ モード 70W (最大)	LED はオレンジ色の点滅
	サスPEND モード 15W (最大)	LED はオレンジ色の点滅
	アクティブ オフ 3W (最大)	LED はオレンジ色の点灯
	電源オフ 0W	LED はオフ
電源	AC 100 ~ 240 V、50/60 Hz (最大電流) 1.7A	
動作時環境	温度	0°C ~ 40 °C
	湿度	10% RH ~ 80% RH (結露のないこと)
保存時環境	温度	-20°C ~ 60 °C
	湿度	8% RH ~ 85% RH (結露のないこと)
寸法	487 (高さ) 469 (幅) 475 (奥行き) mm	
重量	25.7 kg	
傾斜 / 回転スタンド	傾斜角度	-5° ~ 10°
	回転角度	-45° ~ 45°

手入れとクリーニング

モニタの上に物を置かないでください。モニタの換気が妨げられ、過熱による損傷の原因となります。液体がモニタにかかったり、内部に入らないようにしてください。画面の寿命を最大限に延ばすとともに、ブラウン管の損傷(同じ画像を長時間画面に表示することによる蛍光体の焼けつきなど)を防ぐため、次の注意事項を守ってください。

- (HP コンピュータの) モニタ パワーマネジメント システムあるいはスクリーンセーバー プログラムをご使用ください。
- コントラストとブライトネスを長時間最大レベルに合わせたままにしないでください。
- パワーマネジメント システムもスクリーンセーバー プログラムもない場合、モニタを使わないときはスイッチを切っておくか、ブライトネスとコントラストを最低まで下げてください。

このモニタの画面は、アンチ グレア、静電気防止コーティングされています。このコーティングを傷めないように、画面をクリーニングするときは一般の家庭用ガラスクリーナをお使いください。クリーニングは次の手順で行います。

- 1 モニタのスイッチをオフにし、電源プラグを抜きます(コードではなくプラグを引っ張ってください)。
 - 2 柔らかい綿の布にクリーニング液を含ませ、画面を軽く拭きます。モニタ内部に入り込む恐れがあるので、クリーナを直接画面にスプレーしないでください。
 - 3 きれいな柔らかい綿の布で乾拭きします。フッ化物、酸、アルカリを含有するクリーニング溶剤は使用しないでください。
-

環境問題

当社は環境への取り組みに力を入れています。この HP モニタはできる限り環境に配慮した上で設計されています。

ハードウェア保証

第 I 部 - HP ハードウェア保証

一般

本 HP モニタ ハードウェア保証条件は、製造元である HP がお客様に対して明示保証の権利を許諾するものです。

オーストラリアおよびニュージーランドにおける消費者向け取引について：本条項の保証条件は、法律が許容する場合を除き、本製品のお客様への販売に適用される強制法規上の権利を排除、制限、変更するものではなく、これに追加されるものとします。

保証の権利は、国または地域の法律によって異なる場合があります。詳細については、HP 正規販売代理店または最寄りの当社セールス / サービス オフィスまでお問い合わせください。

修理および交換保証

保証期間 ¹	提供されるサービス	
3年 - 本来のエンド ユーザが購入時にこれより短い保証期間に同意した場合は除きます。	世界 (アメリカ、カナダおよび日本を除く): 最初の1年間は、訪問修理を承ります。2年目からは当社あるいは修理担当正規代理店のサービス センタにご返送ください。	A
	アメリカおよびカナダ: 3年間は、当社あるいは修理担当正規代理店のサービス センタにご返送ください。	B
1年	世界 (日本を除く): 訪問修理サービス	C
1年	日本: 1年間は、当社あるいは修理担当正規代理店のサービス センタにご返送ください。	D

1. 本モニタ ハードウェア製品は、1年あるいは3年保証が適用されます。詳しくは、HP クイック セットアップ ガイドを参照してください。

当社は通常の使用条件における本モニタ製品または付属品の材質、製造上の不具合に対して、上記に定めた期間内においてこれを保証します。この保証は本製品の受取日から開始されます。

当社は本 HP ハードウェアの稼働中に中断や故障がまったく発生しないという保証はいたしません。

保証期間内に当社が相当期間内に当社製品を保証されている状態に修理または交換できなかった場合、当社製品を HP 正規代理店または指定場所に製品をご返却いただいた時点で購入代金の全額を請求できます。特記事項がない限り、若しくは当社との書面による同意がない限り、お客様が購入代金のお支払いを請求する際は、すべてのシステム処理ユニットとともにハードウェア コンポーネントをご返却いただくものとします。HP ソフトウェアは HP 製品マニュアルに記載の HP ソフトウェア製品限定保証の対象となります。特記事項がない限り、ならびに国または地域の法律の認める範囲内において、本ハードウェア製品は、再生部品 (性能において新品と同等である) または付帯的に使用されていた可能性のある部品を含む場

合があります。当社は次のいずれかの製品との当該ハードウェア製品の修理ならびに交換を行います。(i) 性能において修理または交換対象製品と同等であるが以前使用に供されていた可能性のある製品、(ii) 性能において新品と同等の再生部品、または付帯的に使用されていた可能性のある部品を含む製品

購入の証明と保証期間

保証期間内に、ハードウェア製品のサービスまたはサポートを受けるためには、製品の保証期間の開始日を規定するため、製品の最初の購入日の証明が必要となります。受取日の証明がない場合は、購入日または製造日(製品に記載)が保証期間の開始日となります。

保証の制限

上記の保証は、(a) 誤った、または不適切な保守や校正、(b) 当社以外のソフトウェア製品、インターフェース、部品、サプライ品、(c) 当社が認めていない修理、保守、改造、または誤使用、(d) 製品の公表された動作仕様範囲外の操作、(e) 不適切な場所での準備や保守、(f) この保証書で明示的に定められたその他の除外事項から生じた不具合については適用されません。

書面または口頭にかかわらず、当社は本製品に関して上記以外の明示的保証は一切行いません。

適用可能な国または地域の法律で認められる範囲内において、商品性および特定用途としての適合性に対するすべての暗示的保証は、上記に明示された保証期間に限定されます。

責任および保障措置の制限

国または地域の法律で認められる範囲内において、本保証条項が当社の唯一の責任です。上記を除き、当社は、データの滅失若しくは直接的、間接的、特殊、偶発的、結果的(利益の損失を含む)またはその他の損害につき、保証、契約、不法行為その他のいかなる理由によってでも、責任を負いません。

上記の保証の制限は、裁判所により、この保証条件に従って販売されたHP製品に不具合があり、その不具合が身体的損傷、死亡、または財産への損害に関する直接的原因であると判断された場合には適用されません。但し、財産に対する損害については、該当する国または地域の法律が許容する範囲において 50,000 米ドル、若しくは損害を発生させた製品の購入価格のどちらか高い方を保証の上限とします。

第 II 部 - 2000 年問題保証

本 HP 製品に付属する HP 限定保証に規定された全ての使用条件と制限事項に基づき、当社は、本製品が当社提供の製品マニュアルに従って使用されたときに(製品パッチやアップデート版のインストールに関するあらゆる説明も含む)、20世紀と21世紀間、また1999年から2000年への遷移、本 HP 製品が閏年に対する正しいデータ操作も含み、日付データ(日付の算出、比較、順序付けも含むがこれに限らない)を正確に処理することを保証します。ただし、この HP 製品を他の製品(ハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアなど)と組み合わせて使用する場合は、これらの製品が日付データを正しく変換できることを前提とします。2000年問題に関する本保証の有効期限は、2001年の1月31日です。

規制事項

DECLARATION OF CONFORMITY

according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

Manufacturer's Name: HEWLETT-PACKARD France
Manufacturer's Address: 5, Avenue Raymond Chanas - EYBENS
38053 GRENOBLE CEDEX 09 -FRANCE

Declares, that the products:

Product Name: hp p920 19-inch Color Monitor
Model Number: D8912*

conform(s) to the following Product Specifications:

SAFETY

-International: IEC 60950:1991 + A1 + A2 + A3 + A4 / GB4943-1995
-Europe: EN 60950:1992 + A1 + A2 + A3 + A4

ELECTRO MAGNETIC COMPATIBILITY

-CISPR 22:1993+A1+A2 / EN 55022:1994 +A1+A2 Class B 1
-EN 50082-1:1992
 IEC 801-2:1992 / prEN 55024-2:1992 - 4kV CD, 8 kV AD
 IEC 801-3:1984 - 3Vm
 IEC 801-4:1988 / prEN 55024-4:1992 - 1 kV Power Lines

- IEC 61000-3-2: 1995 / EN 61000-3-2: 1995
- IEC 61000-3-3:1994 / EN 61000-3-3:1995

- GB9254-1998
- FCC Title 47 CFR, Part 15 class B²⁾
- ICES-003, Issue 2
- VCCI-B
- AS/NZ 3548:1995

Supplementary information: The product herewith complies with the requirements of the following Directives and carries the CE mark accordingly:

the EMC Directive 89/336/EEC and Low Voltage Directive 73/23/EEC both amended by the Directive 93/68/EEC.

1) The product was tested in a typical configuration with Hewlett-Packard Personal Computer systems.

2) This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



Jean-Charles MIARD
Quality Manager

Grenoble, October 2000

For Compliance Information ONLY, contact:
USA contact: Hewlett-Packard Company, Corporate Product Regulations Manager, 3000 Hanover
Street, Palo Alto, CA 94304. (Phone (650) 857-1501).

Notice for the USA: FCC Class B Statement

**FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION RADIO
FREQUENCY INTERFERENCE STATEMENT WARNING:**

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the distance between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a different circuit to the one the receiver is connected to.
- Consult your dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Hewlett-Packard's FCC Compliance Tests were conducted using HP-supported peripheral devices and HP shielded cables, such as those you receive with your system. Changes or modifications not expressly approved by Hewlett-Packard could void the user's authority to operate the equipment.

Notice for Canada

This Class "B" digital apparatus complies with all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations (ICES.003).

Cet appareil numérique de la Classe B est conforme à toutes les exigences du règlement sur le matériel brouilleur du Canada (NMB - 003).

X 線の放射に関する注意事項

本製品は動作中に X 線を放出しますが、充分にシールドされており、ドイツの Radiation Act や米国の Radiation Control for Health and Safety Act を始めとする各国の安全と健康に関する要求条件を満たしています。本製品からの放射は、CRT 表面から 10cm の距離において 0.1mR/hr(1 uSv/hr) 未満です。X 線の放射は、主として CRT とその付属低圧、高圧回路の特性で決まります。安全に操作できるよう、内部制御機能が調整されています。内部調整は有資格担当者に限り、本製品のサービスマニュアルの指定通りに調整してください。CRT は必ず同一の製品と交換してください。

Safety Warning for USA

If the power cord is not supplied with your monitor, select the proper power cord according to your national electric specifications.

USA: use a UL listed SVT detachable power cord.

Notice for Korea

사용자 안내문(B급 기기)
이 기기는 비업무용으로 전자파장해 검정을 받은
기기로서, 수거 지역에서는 물론 모든 지역에서
사용할 수 있습니다.

Notice for Germany

Hinweis für Deutschland: Geräuschemission
Lärmangabe nach Maschinenlärmverordnung - 3
GSGV
(Deutschland)
LpA < 70db am Arbeitsplatz normaler Betrieb nach EN27779:
11.92

Notice for Japan

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準
に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用すること
を目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して
使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。



TCO 99

Congratulations! You have just purchased a TCO'99 approved and labelled product! Your choice has provided you with a product developed for professional use. Your purchase has also contributed to reducing the burden on the environment and also to the further development of environmentally adapted electronics products.

Why do we have environmentally labelled computers?

In many countries, environmental labelling has become an established method for encouraging the adaptation of goods and services to the environment. The main problem, as far as computers and other electronics equipment are concerned, is that environmentally harmful substances are used both in the products and during their manufacture. Since it is not so far possible to satisfactorily recycle the majority of electronics equipment, most of these potentially damaging substances sooner or later enter nature.

There are also other characteristics of a computer, such as energy consumption levels, that are important from the viewpoints of both the work (internal) and natural (external) environments. Since all methods of electricity generation have a negative effect on the environment (e.g. acidic and climate-influencing emissions, radioactive waste), it is vital to save energy. Electronics equipment in offices is often left running continuously and thereby consumes a lot of energy.

What does labelling involve?

This product meets the requirements for the TCO'99 scheme which provides for international and environmental labelling of personal computers. The labelling scheme was developed as a joint effort by the TCO (The Swedish Confederation of Professional Employees), Svenska Naturskyddsforeningen (The Swedish Society for Nature Conservation) and Statens Energimyndighet (The Swedish National Energy Administration).

Approval requirements cover a wide range of issues: environment, ergonomics, usability, emission of electric and magnetic fields, energy consumption and electrical and fire safety.

The environmental demands impose restrictions on the presence and use of heavy metals, brominated and chlorinated flame retardants, CFCs (freons) and chlorinated solvents, among other things. The product must be prepared for recycling and the manufacturer is obliged to have an environmental policy which must be adhered to in each country where the company implements its operational policy.

The energy requirements include a demand that the computer and/or display, after a certain period of inactivity, shall reduce its power consumption to a lower level in one or more stages. The length of time to reactivate the computer shall be reasonable for the user.

Labelled products must meet strict environmental demands, for example, in respect of the reduction of electric and magnetic fields, physical and visual ergonomics and good usability.

Below you will find a brief summary of the environmental requirements met by this product. The complete environmental criteria document may be ordered from:

TCO Development

SE-114 94 Stockholm, Sweden

Fax: +46 8 782 92 07

Email (Internet): development@tco.se

Current information regarding TCO'99 approved and labelled products may also be obtained via the Internet, using the address: <http://www.tco-info.com/>

Environmental requirements

Flame retardants

Flame retardants are present in printed circuit boards, cables, wires, casings and housings. Their purpose is to prevent, or at least to delay the spread of fire. Up to 30% of the plastic in a computer casing can consist of flame retardant substances. Most flame retardants contain bromine or chloride, and those flame retardants are chemically related to another group of environmental toxins, PCBs. Both the flame retardants containing bromine or chloride and the PCBs are suspected of giving rise to severe health effects, including reproductive damage in fish-eating birds and mammals, due to the bio-accumulative¹ processes. Flame retardants have been found in human blood and researchers fear that disturbances in foetus development may occur.

The relevant TCO'99 demand requires that plastic components weighing more than 25 grams must not contain flame retardants with organically bound bromine or chlorine. Flame retardants are allowed in the printed circuit boards since no substitutes are available.

Cadmium²

Cadmium is present in rechargeable batteries and in the colour-generating layers of certain computer displays. Cadmium damages the nervous system and is toxic in high doses. The relevant TCO'99 requirement states that batteries, the colour-generating layers of display screens and the electrical or electronics components must not contain any cadmium.

Mercury²

Mercury is sometimes found in batteries, relays and switches. It damages the nervous system and is toxic in high doses. The relevant TCO'99 requirement states that batteries may not contain any mercury. It also demands that mercury is not present in any of the electrical or electronics components associated with the labelled unit.

CFCs (freons)

The relevant TCO'99 requirement states that neither CFCs nor HCFCs may be used during the manufacture and assembly of the product. CFCs (freons) are sometimes used for washing printed circuit boards. CFCs break down ozone and thereby damage the ozone layer in the stratosphere, causing increased reception on earth of ultraviolet light with e.g. increased risks of skin cancer (malignant melanoma) as a consequence.

Lead²

Lead can be found in picture tubes, display screens, solders and capacitors. Lead damages the nervous system and in higher doses, causes lead poisoning. The relevant TCO'99 requirement permits the inclusion of lead since no replacement has yet been developed.

1. Bio-accumulative is defined as substances which accumulate within living organisms
2. Lead, Cadmium and Mercury are heavy metals which are Bio-accumulative.